

このたび町民各位の絶大なるご支援をいただきまして、光町長に就任いたしました。今さらながらその責任の重大さに、身のひきしまる思いでございます。

しかしながら、就任いたしました以上、光町の繁栄と町民の福祉の向上をめざし、皆様のご期待にこたえるよう、全力を尽くす覚悟であります。

光町も誕生以来、歴代町長のご尽力と町民各位のご協力により、著しい発展を遂げまいりました。

特に、この十年間の椎名前町長の残された業績は余りにも多く、そのどれにも全力を傾けておられました。東陽、白浜全地域に及ぶほ場整備事業の完成。千葉県農業賞受賞に輝く、農業構造改善事業続いて新井、台、篠本三区、木戸長塚部落などの高度集団栽培事業ライスセンターの建設。日吉、南条地区における二路線の農免道路の整備等々の農業振興の基盤。畜産振興につながる東陽と畜場の増築。東総衛生組合光町分場設置の難事業も完成し、環境衛生面の改善。各小、中学校の体育館、プー



4月27日、町長選挙で無投票当選した7代町長

新旧両町長ごあいさつ

ルの教育施設の充実など、各般にわたり、大きな業績を残されました。ご尽力に対し、町民と共に心から感謝と敬意をささげたいと存じます。

住民の福祉向上に努力を

町長 馬場 幸太郎

銘記し、この精神に基づきまして町民の皆様が、一層向上するよう努力してゆきたいと存じます。

具体的にはすでに計画された、五十年度を初年度とする、第四次三カ年実施計画を基本とし、最も重要な道路整備事業などから実践してゆくつもりであります。この

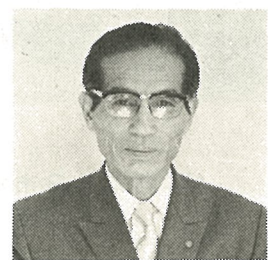
計画を実現させるためにはその財源の大半を国、県に依存している現在、国、県の財政計画などの変更によつては、計画どおりの実施が困難になることも予想されますので、財政運営の面において、常に経費の節減につとめ、財政投資効果の増大をはかりながら、光町長期総合計画などを、今後の行政の指針として、実践してゆくつもりです。

昭和四十年五月十八日、町長に初当選した当時、東陽、白浜地区の県営ほ場整備事業の採択国道一二六号線、芝崎、海老川地先の用地買収、県道母子前の補装小、中学校体育館、プールの建設など重要問題が山積みしていた。

このうち県営ほ場整備事業は、私の政治生命を左右した。初めて腕だめしでもあった。さいわいすべて順調にはこび、皆さんの協力で感謝している。

過去、十年間の一番難しかった問題は、東総衛生組合光町分場の設置であった、し尿処理場は、イメージ的にもよくないので反対者も少なくなく、その説得活動に骨が折れた。現在に至っては環境衛生の上で、大変喜ばれているはずである。

こんど馬場新町長にバトンタッチしたが、栗山川の改修問題は大きな政治問題であつて、関係者たちの十分な理解と協力が必要である。栗山川の水系から考えて上流地域が改修さ



4月13日、県議会議員選挙で当選した前町長

町政を顧みて

前町長 椎名 彰

れ、下流部が現況のままでよいとは、だれも考えられない。それだけに地権者たちの有利になる方途を講じ、納得の上で推進しなければならぬ。

河口部では、立入調査が行なわれているが、関係者の了解の上であつて県や町が強引に実施したものではない。随時、各地域ごとに話し合いも行なわれるはずであるが、利害の対立はじっくり話し合うことによつて、解決されるものと思う。

大布川の湛水防除事業は、総仕上げ、十億円以上かかると言うがことしも一億二千万円の予算が決定したので、早期完成の見とおしである。

町道路の改良舗装は、人気取り的なものでなく、将来の交通量などを考えて、悔を残さないようなすでに改良舗装を行なった道路を見本として、計画的に実施すべきである。

教育施設整備拡充は、好しい教育のできるための優先措置が考えられるわけであるが、予算の許す範囲内で善処してほしいものだ。

私は、思慮深く誠実な馬場町長を信頼しているので、必ず善政を施すことを確信している。

どうぞ、町民各位には大局的な立場からまよわず、新馬場町政へ期待をかけていただきたいものである。